

前回の年金事業管理部会における主なご意見

1. 中期目標

- 業務改善計画事項のうち、特に大臣がこれをやるべきというものを盛り込むべき。一例として本部とブロック本部の統合のような主要項目を入れていただければよいと思う。
- 情報流出の責任の所在について明確に打ち出すべき。

2. 中期計画

- P22「ICT化の推進」の大きな目的の一つは「年金記録の正確性の確保」であることを明記すべき。電子媒体で出してもらって早くご本人に確認してもらう仕掛けを作ることで、記録問題を起こさないという明確なメッセージを出すべき。
- 「マイポータル」という表現はもう使っていないので修正すべき。「マイポータルによる情報の提供等に積極的に対応する」とあるが、実態がどうかということを反映させないといけない。数年先まで掲げる中期計画に盛り込む際には、整合性を考慮する必要がある。

3. 工程表

➤ 業務改革

- 参考資料2 P33「チャネルの拡充」について、市町村とどのように連携を取るのかを踏まえて書いてほしい。
- 参考資料2 P33「ねんきんネットの拡充」について、「再発行・再交付機能」とあるが、何を指すのか。分かりやすく記載いただきたい。
- 参考資料2 P33「年金相談予約センターの設置」について、かえって相談しにくくなるのではないか。もう少し具体的な資料があれば次回以降出してほしい。
- 参考資料2 P33「テレビ電話相談」について、相談は対面でやるべきであり、職員が巡回する方が効率的で親切的な体制ではないか。

➤ 情報セキュリティ

- 参考資料2 P38「ねんきんネット」について、「多重防御策」をすでに実施しているように見える。平成27年度末で一度切って、「アセスメントのもとに新しい防御を検討」と書いた方が状況が分かりやすいのではないか。

➤ 工程表全般

- 参考資料2 P32「業務削減会議」について、どういう推進力を持たせるのか教えてほしい。

前回の年金事業管理部会における主なご意見

○工程表について、準備期間が必要な施策も多いと思うので、その辺を精緻化してスケジュールを見直してほしい。

4. その他

○業務改善計画の進行状況をチェックしていく必要があるので、特別作業班を作ってください。

○業務改善計画にある「ガバナンス」「組織風土」を機構はどう認識しているのか。別の場所でもいいので表現してほしい。

○機構の再生について、成果指標をイメージしてほしい。ブロック本部を本部に集約することについては成果が見えにくい。

○中期目標、中期計画、年度計画には当然やるべきことではなく、お客様や職員に対するメッセージとしての重点事項を記載すべき。